

## イタリア

## パチカン等

## 東ヨーロッパ

## ロシア・バルカン半島等

- 1501.1.6、イタリア、フランス国王・ルイ12世(39)が軍を率いてナポリに入城し、スペインと対立する。
- 1501年、イタリア、活字で印刷された楽譜が、ヴェネツィアではじめて出版される。
- 1503.8.18、バチカン、ローマ教皇アレクサンデル6世が死去する。
- 1503.11.1、バチカン、アレクサンデル6世らのボルジア派と対立していたサヴォナ出身のデッレ・ローヴェレ枢機卿(60)が、教皇ユリウス2世として即位する。
- 1504.1、イタリア、スペインがナポリ王国を奪回する。
- 1504.9.8、イタリア、フィレンツエでミケランジェロ(29)が「ダヴィデ」を完成する。
- 1505年頃、イタリア、レオナルド・ダ・ヴィンチが絵画や彫刻、力学や解剖学など多分野で活躍する。
- 1506.1、イタリア、ヘレニズム時代の彫刻「ラオコオン群像」がローマで発見される。
- 1506年、バチカン、教皇ユリウス2世(63)の命で、建築家のプラマンテ(62)がサン・ピエトロ大聖堂の建設に着手する。
- 1506年、イタリア、「死せるキリスト」を描いた、ゴンザーガ家の宮廷画家アンドレア・マンテニヤ(75)が没する。
- 1507.5.11、イタリア、フランス国王ルイ12世(45)が、ジェノヴァを征服して併合する。
- 1508.2.4、イタリア、1493年に選帝侯の選出により神聖ローマ皇帝位に就いたマクシミリアン1世(49)が、教皇ユリウス2世より戴冠される。
- 1508年頃、イタリア、水上都市ヴェネツィアの繁栄がいぜん続いている。
- 1509.3、イタリア、態度を保留していた教皇ユリウス2世やイタリア諸侯がカンブレー同盟に加わり、ヴェネツィア包囲網を形成する。
- 1510.5.17、イタリア、画家サンドロ・ボッティチェリ(65)がフィレンツエで没する。
- 1510年夏、イタリア、対ヴェネツィア戦争が終わりカンブレー同盟が解体したのを機に、フランスを警戒した教皇ユリウス2世は、みずから軍を率いて対仏戦を開始する。
- 1510.10.25、イタリア、画家ジョルジョーネが没する。
- 1510年、イタリア、画家ティツィアーノが「田園の奏楽」を描き、画家としての名声を得る。
- 1510年、バチカン、ラファエロ・サンティが、バチカン宮署名の間に古代ギリシアの哲学者をテーマにした大壁画「アテネの学園」を描く。
- 1511.10.4、イタリア、教皇ユリウス2世(68)を中心に対仏同盟が結成され、スペイン、ヴェネツィア、イギリス、イスラムが参加する。
- 1512.4.11、イタリア、フランス軍が、ラヴェンナの会戦で対仏同盟軍に大勝する。
- 1512.5.2、ローマ、教皇ユリウス2世が、ラテラノ公会議を開会する。
- 1512年、バチカン、ミケランジェロがシスティナ礼拝堂の天井画を完成する。
- 1513年、イタリア、マキアヴェリが「君主論」の執筆を開始する。
- 1514.3.11、ローマ、サン・ピエトロ大聖堂の最初の設計者ドナート・プラマンテ(70)が没し、ラファエロ・サンティ(30)が建築事業を引き継ぐ。
- 1515.9.13、イタリア、フランス国王フランソワ1世がミラノのスイス傭兵軍とマリニャーノで戦う。
- 1516.8.18、イタリア、教皇レオ10世(41)が、フランス国王フランソワ1世に、聖職者叙任権を認める(ボローニヤ政教和約)。これにより、フランス教会への教皇の支配権が制限されることになる。
- 1517.3.16、ローマ、1512年に教皇ユリウス2世が開いた第5回ラテラノ公会議が、キリスト教国間の平和を宣言して閉会する。
- 1517.4.18、ローマ、シエナとフィレンツエの覇権をめぐって、アルフォンソ・ペトゥルッチ枢機卿を主犯とする教皇レオ10世暗殺計画が発覚する。1か月後、枢機卿は逮捕される。
- 1517.7.4、ローマ、教皇暗殺を謀った元枢機卿ペトゥルッチが処刑される。多数の聖職者、枢機卿が逮捕されたが、そのほとんどはまもなく釈放され、処刑者はほかに出なかつた。
- 1519.6.24、イタリア、フェラーラ公妃ルcrezia・ボルジアが没する。
- 1520.4.6、ローマ、画家で建築家のラファエロ・サンティが没する。
- 1520.6.15、バチカン、教皇レオ10世(45)がルターを異端と宣言し、「破门威嚇書」を発行する。ルターは12月に威嚇書を焼却する。
- 1521.6、イタリア、カール5世がイタリア遠征を開始する。
- 1522.3.8、バチカン、スペインのアドリアン枢機卿が、ハドリアヌス6世として教皇指名を受諾する。1978年即位のヨハネス・パウルス2世以前の最後の非イタリア人教皇である。
- 1522.4.27、イタリア、ビコッカの戦いでフランスが神聖ローマ帝国に敗北してミラノを失う。同時にジェノヴァもフランスから独立し、ヴェネツィアもフランスとの同盟を破棄する。
- 1523.9、イタリア、フランス軍がミラノを再包囲するが、カール5世に撃退され11月に撤退する。
- 1523.11.19、バチカン、メディチ家のジュリオ(45)が、教皇クレメンス7世として即位する。彼はのちに最後の「ルネサンス型」の教皇といわれる。
- 1525.2.24、イタリア、神聖ローマ皇帝カール5世が、パヴィアの戦いでフランス軍を破る。
- 1525年頃、ヴェネツィア、画家ティツィアーノ・ヴェチェリオが「キリストの埋葬」を描く。
- 1526年、イタリア、画家ボントルモが、「キリストの降架」を完成する。
- 1527.5.6、イタリア、神聖ローマ皇帝軍がローマに侵入し略奪・破壊を行う。
- 1528、夏、イタリア、ジェノヴァ提督アンドレア・ドリア(62)が、コニャック神聖同盟から神聖ローマ皇帝側に寝返り、市内からフランス軍を駆逐する(ジェノヴァ共和国の成立)。
- 1528年、イタリア、カステリオーネが「宮廷人」を刊行する。
- 1535年、イタリア、ミラノがスペイン王カロルス1世の支配下に入る。
- 1536年、イタリア、グイッチャルディーニが「イタリア史」を刊行する。
- 1536年頃、イタリア、画家・建築家のジュリオ・ロマーノ(37)が、マントヴァにゴンザーガ家の離宮パラッツォ・デル・テを完成させる。
- 1537年、イタリア、パドヴァ大学医学部教授のアンドレアス・ヴェサリウス(23)が解剖学の授業を始め、翌年には6枚の解剖図を著す。
- 1538年、イタリア、ヴェネツィア派の画家ティツィアーノが、「ウルビノのヴィーナス」を制作する。
- 1540.9.27、バチカン、教皇パウルス3世がイエズス会の設立を許可する。
- 1541.11、バチカン、ミケランジェロ(66)が、システィナ礼拝堂正面の大壁画「最後の審判」を完成させる。
- 1541年、イタリア、イタリアが、ファッショニの発信基地となる。
- 1542.7.21、バチカン、教皇パウルス3世が、教皇庁に検邪聖省を設置する。
- 1543年、イタリア、数学者ニッコロ・タルタリア(44?)が、ユークリッド(エウクリデス)の「ストイケイア」の初の近代語訳であるイタリア語版を刊行する。またこの年、13世紀のギヨームのラテン語訳「アリストテレス全集」を出版する。
- 1544.4.14、イタリア、フランス軍がセリゾールの戦いで神聖ローマ皇帝軍を破るが、9月14日にはイギリス軍がブルゴーニュを奪う。
- 1545.12.13、イタリア、教皇がトリエンティ公会議を開催する。
- 1546年、イタリア、医師ジローラモ・フラカストロ(68?)が、伝染病の微生物病原説を述べた「接触感染と伝染病について」を出版する。
- 1547、バチカン、ミケランジェロ(72)がサン・ピエトロ大聖堂建築の主任となり大ドームを設計する。
- 1550年、イタリア、画家で建築家のジョルジョ・ヴァザーリが「芸術家列伝」を刊行する。
- 1550年、ローマ、教皇レオ10世のもとでキリスト教徒となったムーア人旅行家レオ・アフリカヌスの「アフリカ誌」が刊行され、評判になる。
- 1552年頃、イタリア、ヴェネツィアでヴィラートやアルカデルトらフランドル出身の作曲家たちが、より芸術的な世俗音楽マドリガルを発展させる。
- 1555.3.23、バチカン、教皇ユリウス3世(68)が没する。4月9日に即位したマルケルス2世(54)も5月1日に没し、23日、パウルス4世(79)が即位する。
- 1555年、ローマ、教皇パウルス4世が、ローマにユダヤ人居住区ゲットーを制定する。
- 1557年頃、イタリア、ティントレットが「スザンナの水浴」を制作する。
- 1558年、イタリア、彫刻家で金工家のベンヴェヌート・チェリーニが、「自伝」の執筆に着手する。
- 1559.1、バチカン、教皇パウルス4世(83)が、対抗宗教改革政策の一環として「禁書目録」を作成させる。
- 1559年頃、イタリア、弦楽器製作者のガスパロ・ダ・サロが、現在のものに近いヴァイオリンを作る。
- 1563.12.4、イタリア、ドリエンティ公会議が閉会する。
- 1563年、イタリア、画家ヴェロネーゼが、「力の婚宴」を制作する。
- 1565年、イタリア、カバラ神秘主義ツファト派の法規学者ヨセフ・カロが、正統派ユダヤ教の基本法規とされる「整えられた食卓」を著す。
- 1568、ローマ、建築家ジャコモ・バロッソ・デ・ヴィニョーラ(61)が、イエズス会の総本山となるイル・ジエスー教会を設計する。
- 1570.2.25、バチカン、教皇ピウス5世(66)が、イギリスのエリザベス女王に対して「エリザベス開門教書」を発行する。
- 1570年、イタリア、建築家パラディオが「建築四書」を刊行する。
- 1571年、バチカン、教皇庁に禁書目録専門聖省が創設され、目録が公示される。
- 1572年、イタリア、ジローラモ・ベンツォーニの著書「新世界の歴史」で、バナナなどのアメリカ産の植物の木版画がヨーロッパではじめて掲載される。
- 1575年、バチカン、教皇グレゴリウス13世(73)が、1552年にローマのフィリッポ・ネリ(60)のもとで結成された、カトリック教区司祭の共同生活会であるイタリア・オラトリオ会を認可する。
- 1577年、バチカン、教皇庁樂部専属作曲家パレストリーナ(52?)が、グレゴリウス13世(75)の命を受けて、グレゴリオ聖歌の純粹性を保つための整備を始める。
- 1578年、ローマ、古代ローマ時代にキリスト教徒が潜伏し、礼拝の場としていた地下墓地(カタコンベ)が再発見される。
- 1580年、イタリア、詩人トルクアート・タッソ(36)の長編叙事詩「解放されたエルサレム」が出版される。
- 1582.10.15、バチカン、教皇グレゴリウス13世が、ユリウス暦をグレゴリオ暦に改める。
- 1583年、イタリア、ガリレオが振り子の等時性を発見する。
- 1585.3.23、バチカン、日本の天正遣欧少年使節団一行が、グレゴリウス13世(83)に謁見する。
- 1586年、イタリア、37年にローマ帝国のカリグラ帝の命でエジプトから運ばれたオベリスクが、ローマのネオ競技場から移され、サン・ピエトロ寺院広場に建てられる。
- 1590.8.27、バチカン、ローマ市の整備や教皇庁の改革を行った教皇シクストス5世(69)が没する。
- 1590年、バチカン、サン・ピエトロ大聖堂が完成する。
- 1590年、イタリア、作曲家クラウディオ・モンテヴェルディ(23)のマドリガーレ集が刊行される。
- 1591年、ヴェネツィア、アントニオ・ダ・ポンテ設計のリアルト橋が完成する。
- 1593年、イタリア、科学者のジョヴァンニ・バッティスタ・デラ・ボルダ(58)が、「屈折光学論」を著す。
- 1594年、ローマ・ミュンヘン、2月2日に宗教音楽家パレストリーナが、ついで6月14日にラッススが没する。
- 1599年、ローマ、バロック様式を創始した画家カラヴァッジョ(28)が、大作「マタイ伝」の制作を始める。

## イタリア

## パチカン等

## 東ヨーロッパ

## ロシア・バルカン半島等

- 1505.10.27、モスクワ、ロシア統一に尽力したモスクワ大公イヴァン3世が没する。
- 1503年、ロシア、モスクワで教会会議が開かれ、モスクワ大公に接近していたヨシフ・ボロツキー(42?)を中心とするヨシフ派が、論戦で勝利する。
- 1532年、ロシア、ヴァシーリー3世が、モスクワ大公国の領土を統一し、中央集権化を完成する。
- 1532年、ロシア、ロシア独特の角錐形ドームを持つコロメンスコエのウスペンスキー教会が造られる。
- 1533.12.11、モスクワ、亡くなったヴァシーリー3世の跡を継いで、3歳の息子イヴァン4世(雷帝)が即位する。
- 1547.1.16、モスクワ、イヴァン4世(雷帝)が、ロシア皇帝として正式にツアーリを称する。
- 1549.2.27、モスクワ、イヴァン4世(19)が、ロシア初の身分制議会ゼムスキー・ソボル(全国会議)を召集する。
- 1556年、ロシア、皇帝イヴァン4世(26)がアストラハン・ハーン国をロシアに併合する。
- 1558年冬、バルト海、ロシアがバルト海域に侵攻し、リヴォニア騎士団、スウェーデン、ポーランド諸王とリヴォニア戦争を開始する。
- 1560年、モスクワ、赤の広場にヴァシーリー大聖堂が完成する。
- 1565.2、ロシア、大貴族の権力を抑えるため、イヴァン4世(35)が国の主要部分をオブリチナ(直轄地)とし、強権支配をすすめる。
- 1569.8.4、ロシア、オスマン朝軍がロシアのアストラハンを包囲する。こののち、ウォルガ川とドン川を結ぶ運河の開削に着手するが失敗する。
- 1570.1.8、ロシア、イヴァン4世(40)がノヴゴロドに入城し、翌日から貴族の反逆の容疑で住民数万を無差別虐殺する。
- 1572年、ロシア、イヴァン4世(42)が、「殺し屋集団」として忌み嫌われた軍隊をもつ直轄領制度オブリチナを廃止する。
- 1581.9.8、ロシア、国王ステファン・バトーリ(47)率いるボーランド・リトアニア軍が、ブスクフを包囲する。ロシアはこれを守り抜き、翌年1月に休戦がなる。
- 1581.11.15、ロシア、息子のイヴァンが反逆の企みを抱いていると誤解した皇帝イヴァン4世(50)が、口論の末、逆上して息子を殺害する。
- 1582.10、ロシア、エルマークの率いるコサック部隊が、シビル・ハーン国の首都を占領する。
- 1583.8.20、ロシア、内外に問題を抱えるイヴァン4世が、スウェーデンと休戦条約を締結し、25年にわたるリヴォニア戦争が終結する。
- 1584.3.28、モスクワ、イヴァン4世が没する。
- 1585.8.16、ロシア、コサック軍の首領エルマーク・チモフエヴィチがシビル・ハーン国のクチュム・ハーンの残党の夜襲を受け、イルティシ川の支流で溺死する。
- 1589.1、モスクワ、皇帝ヨーダル1世(32)の摂政ボリス・ゴドウノフ(34?)が、モスクワをロシア正教の府主教座から総主教座に昇格させ、コンスタンティノープル総主教座から独立させる。
- 1591.5.15、ロシア、イヴァン4世の皇子ドミニコーが謎の死をとげる。
- 1592年、ロシア、摂政ボリス・ゴドウノフによる土地台帳作成事業が完了する。また、このころ農民移転禁止の法令を発布し、農奴制を強化する。
- 1593.7.19、バルカン半島、大宰相のシナ・パシヤ率いるオスマン朝軍がオーストリアに向けて進撃を開始する。
- 1595年、バルト海、スウェーデン・フィンランド兼ボーランド王のジグムント3世(29)が、25年間続いたロシアとの紛争を解決する(テウシナの和議)。
- 1598.2.17、ロシア、ヨーダル1世(41)が没してリューリク朝が断絶したのをうけて、摂政だったボリス・ゴドウノフ(43?)が皇帝に選出される。彼はイヴァン4世の遺志を継ぎ、農奴制の強化に努める。

## イタリア

## パチカン等

## 東ヨーロッパ

## ロシア・バルカン半島等

## イタリア

## パチカン等

## 東ヨーロッパ

## ロシア・バルカン半島等